翻訳作品を読み比べよう

星の王子さま　サン＝テグジュペリ

（飛行機の操縦士の「僕」は、サハラ砂漠に不時着し、そこで「王子さま」と出会う。「僕」が飛行機で空から落ちてきたと知った「王子さま」はひどく驚いた。）

A　内藤濯　訳

「へえ！　変だなあ、そりゃ……。」

王子さまは、そう言って、①たいそうかわいらしい声で笑いました。笑われた僕は、②とても腹が立ちました。天から落ちるなんて、ありがたくないことなんですから、真剣に考えてもらいたかったのです。やがて、王子さまはまたこう言いました。

「じゃあ、君も、天からやって来たんだね！　どの星から来たの？」

B　池澤夏樹　訳

「ああ、それはおかしいね。」

そう言って王子さまが❶けらけらと笑ったので、僕は相当むっとした。僕としては自分の不運をもう少し真剣に受け止めてほしかったのだ。

❷次に彼はこう言った＿＿＿。

「君も空から来たんだ！　君の星はどれ？」

翻訳

ある言語で書かれた文章を他の言語に置き換えることを翻訳という。同じ作品でも、翻訳者がどのような表現を用いるかによって、受ける印象は異なる。

（例）「星の王子さま」（原文はフランス語）

・内藤濯訳　「へえ！　変だなあ、そりゃ……。」

・池澤夏樹訳　「ああ、それはおかしいね。」

確認テスト 本文を読んで、問いに答えなさい。

(1) ——線①「たいそうかわいらしい声で笑いました」❶「けらけらと笑った」という翻訳から、それぞれどのような印象を受けるか。適当なものを選びなさい。

ア やんちゃで活発な印象。　**イ** 幼く、愛らしい印象。

①〔　　〕　❶〔　　〕

(2) ——線②「とても腹が立ちました」は、**B**ではどのように翻訳されているか。書きぬきなさい。

〔　　　　　　　　〕

(3) ——線❷「次に彼はこう言った——。」は**A**ではどのように翻訳されているか。一文で探し、最初と最後の三字を答えなさい。ただし句読点も字数に含む。

□□□〜□□□

(4) 次の表現の特徴は、**A**・**B**のどちらに当てはまるか。記号で答えなさい。

文末は「……です。」「……ます。」の敬体が用いられ、表現がやわらかく、おとぎ話のような印象を受ける。

〔　　〕